

令和5年3月吉日

公財) 日本ハンドボール協会
登録者各位

公益財団法人日本ハンドボール協会
会長 湧永 寛仁
(公印省略)

登録料の改定について

前略 皆様におかれましては、日頃より当協会の事業に対し、ご理解とご協力を賜り深く感謝申し上げます。

さて、来年度(令和5年度)から当協会の登録料を改定することとなりました。

東京オリンピックが終わり、当協会を含めたスポーツ界を取り巻く環境は激変、厳しい財務状況を改善すべく、日々改善に努めてまいりましたが、安定した財務体質にはまだ至っておりません。より充実した大会運営の実現、次世代のハンドボールプレーヤーや多くのファンの方々への還元を実行していく必要もあります。国や公的機関等からの助成金への依存度を下げて持続的な財務体質を実現するために、皆様にはご負担をお掛けすることになりますが、来年度から登録料の改定をお願いする次第です。なお、予算執行につきましては引き続き厳しく管理すると共に、マーケティング収入や大会運営からの収益向上に尽力して参りますので、ご理解のほど宜しくお願い申し上げます。 草々

2023 年度からの登録料値上げ

補足説明資料

公益財団法人日本ハンドボール協会（JHA）

- ✓ 登録料改定の具体的内容
- ✓ 登録料改定の背景
- ✓ Q&A

【登録料改定の具体的内容】

カテゴリー	チーム（金額）
	個人/役員/学生・生徒・児童役員（金額）
一般L	チーム(700,000 円) 選手(3,300 円)/役員(3,000 円)
一般A	チーム(40,000 円) 選手(2,500 円)/役員(3,000 円)
リージョナル	チーム(10,000 円) 選手(2,000 円)/役員(3,000 円)
大学	チーム(20,000 円) 選手(2,000 円)/役員(3,000 円)/学生チーム役員 (2,000円)
高専・高校	チーム(10,000 円) 選手(1,500円)/役員(3,000 円)/生徒チーム役員 (1,500円)
中学校・中学生クラブ	チーム(5,000 円) 選手(1,300円)/役員(3,000 円)/生徒チーム役員 (1,300円)
小学生	チーム(5,000円) 選手(1,000円)/役員(3,000 円)/児童チーム役員 (1,000円)
ビーチ※1	チーム (5,000円) 選手 (2,000円) /役員 (3,000円)
マスターズ	チーム (5,000円) 選手 (2,000円) /役員 (3,000円)

- ・大学生以下の学生・生徒・児童チーム役員は選手と同額。
 - ・同学校の男女チーム役員を兼ねる場合には 1 チーム分の登録料のみ
 - ・同じ人が、選手とチーム役員を兼任する場合は、選手、チーム役員両方の個人登録料を支払わなければならない。
 - ・役員、選手の個人登録料は、本協会が定める金額以外に、別途各都道府県協会で定めることができる。
- ※1 JHA 登録している大学生以下の方は、ビーチ登録料は 1,000 円（チーム役員、選手とも）とする。

【登録料改定の背景】

1, 助成金の削減

JHA 含むスポーツ統括団体は、国の助成金として JSC(日本スポーツ振興センター)、JOC(日本オリンピック委員会)から多額の助成金をいただいております。

東京五輪前の 2019 年から 2021 年にかけて、東京五輪で成果を出す支援として助成金も増額されましたが、東京五輪後の 2022 年からは国の助成金も減額の方方向となっております。

2, スポンサー離れ

東京五輪終了後、大口スポンサー 2 社の契約が終了しました。

2020 年より新型コロナウイルス感染症が蔓延し、日本も経済的に大きな影響がでて、各企業様も経営が苦しい状況が続いています。JHA としても積極的に新規のスポンサーを探して新たなスポンサー契約も獲得していますが、大口のスポンサーの獲得に至っておりません。引き続き、大口スポンサーの獲得に務めてまいります。

3, 諸物価の高騰

ロシアによるウクライナ侵攻を発端とした世界的なサプライチェーンの異変による資源価格や原材料価格の上昇は、世界的な物価や人件費の高騰を齎し、日本にもその影響が及んでいます。更に、日本においては円安による輸入コスト増が加わり、JHA の事業運営費も増加傾向となっております。特に海外遠征時の航空運賃はコロナ前の倍近くとなっております、JHA の大きなコスト増につながっております。

Q&A

1, JHA はどのような活動をしていますか？

また、登録料の値上げ分は何に使われますか？

A:JHA は、ハンドボールを通じた国民の健康増進を目的として活動を行っています。小・中学生、高校生、大学生から社会人までハンドボールの活動や各種大会運営を加盟団体を通じて支援する一方で、日本代表チームの強化に向けて、選手の発掘や育成、指導者や審判の育成、ジュニアやアンダーカテゴリーの代表候補選手の強化も行っています。

A:登録料は JHA の運営の根幹を担っており、JHA 事業に幅広く活用されています。ただし、今回の登録費の値上げ分は使い道を明確にしました。

- ・JHA 主催の全国大会でのインターネット配信費用
- ・ジュニア、ユース代表の国際大会参加・遠征の費用の一部
- ・より質の高い試合運営のための審判の育成、指導システム
- ・学生向け各事業への補助等

2, 登録者には今回の改定でどのようなメリットがありますか？

A：登録者個人のメリットは直接感じにくいところがありますが、下記のメリットに限らずの登録者への還元にも努めて参ります。

- ・全国大会のインターネット配信により、試合を閲覧できます。
- ・MY HANDBALL の機能を充実することにより、新たな使い方が増えます。ファンクラブ機能やチケット販売機能が 2023 年度中に使えるようになります。

3、他のスポーツ団体の登録料は？

A: 今回の改定後の登録料と他のスポーツの登録料を比較しました。
JHA と登録者数の近い協会・連盟を抽出しています。

単位：円

協会・連盟	登録者数	一般	大学生	高校生	中学生	小学生
ハンドボール協会	10万人	2,000～3,300	2,000	1,500	1,300	1,000
フェンシング協会	4千人	10,000	7,000	4,000	2,500	2,000
ラグビー協会	10万人	2,000	2,000	2,000	1,000	1,000
空手道連盟	9万人	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000
水泳連盟	13万人	3,000	3,000	3,000	3,000	3,000
柔道連盟	15万人	4,000	3,000	2,500	2,000	1,500
バスケット協会	60万人	2,000	2,000	1,000	1,000	800

4、なぜ、すべてのカテゴリーが値上げ負担をしなければならないのか？

A: JHA 事業は登録者の方々からの登録料、JSC、JOC 等からの補助金・助成金、検定料、協賛金、寄付金で運営しています。
JHA は登録者のみなさま含むすべてのステークホルダーの方々から支えていただいて事業を行っております。今回の値上げにおいても登録者の方々に広くご負担をお願いしています。